



軍事同盟ははなくても各国が支援する！

これまで幾多の侵略戦争が「自衛」の名の下に行われたことだろう。

ブッシュは「イラクは大量破壊兵器を保有」

との嘘。そしてプーチンは「ロシア系住民の保護」。旧日本軍は「満蒙は日本の生命線」。つまり日本を守るには必要と侵略。

これら「自衛の名の侵略戦争」をしない為に憲法九条は「国際紛争を解決する為の戦争はしない」とし、第二項で「その為の戦力は持たない」とした。

ところが、安倍政権は集団的自衛権容認に憲法解釈を変更。それに憲法を合わせようと、

憲法九条に自衛隊を明記。「集団的自衛権行使」他国の紛争に武力介入しようと言う。だから、自民党は「敵地攻撃能力」を云々。

これではブッシュのイラク戦争と同じだ。

国連憲章は外国の侵略から防衛する権利を保障している。現行憲法九条下でも侵略に無抵抗ではない。

自衛隊員は日本を専守防衛。他国の紛争に outbreak 生命をかける事は本人も家族も考えていないだろう。

本当に攻撃されたら

国連憲章は第二条で「国際関係で武力の行使を慎め」とある。国連は総会で、プーチンのウクライナ侵略の非難決議を採択。NATO 他の諸国は自衛の為の武器を援助。

ロシアの侵略を恐れフィンランドは NATO 加盟を検討。しかし、侵略に対して世界各国が防衛の為に支援する事は今回証明されたのではないか？

あなたはどうか思われますか？

高根展望台から

群馬県渋川市伊香保町湯中子

二〇二二年四月



高根展望台は群馬県の伊香保温泉街から、榛名湖に向かう途中にある。

展望台の名に相応しく、遠くの間々から眼前の盆地まで気持ちの良い風景が広がる。針葉樹林は春になっても濃い緑をたたえている。

その濃い緑の間には芽吹き始めた広葉樹林や畑が見える。

榛名山は数十万年前に大噴火した火山。五〇六世紀にも噴火している。その頃だろうか、鎧を身にまとい、火山灰に埋もれた武人が見つかっている。

絵の右下が伊香保温泉街。その後方に聳えるのが子持山。左手の山が小野子山。いずれも標高千二百mを超える山だ。

子持山の少し左、遠くに雪を頂いているのは武尊山。

